

津奈木幼稚園舎落成



新園舎で
楽しく遊ぶ園児

式典

津奈木
幼稚園落成

二月二十六日午前
十時から同幼稚園遊
戯室で関係者出席の
もと式典があった。

ありがとう

幼稚園児一同

きょう、わたした
ちは、むねをワクワク
させてとうえんし
てきました。あかい
とんがりやね、あか
いおへやきれいな
トイレ、そしてピカ
ピカにおけしゅうし
たフランクやすべり
だいが、わたしたち
をむかえてくれまし
た。

こんなすてきなあたらしいよ
うえんをつくってくださってあ
りがとうございました。たいせつ
につかいたいとおもいます
わたしたちは、りっぱなようち
えんにまけないように、これから
もいっしょけんめいがんばりま
す。そしてりっぱな子どもになり
ます。ほんとうにありがとうござ
いました。

この度、行政各位の御理解によ
り、新しい津奈木幼稚園舎が、完
成しました。
旧小学校を利用した施設が、老
幼園舎建設 お礼のことば

園舎建設 お礼のことば

P.T.A会長 寺本 信介

朽化し、四・五年前から、当時の父
兄の方々から、たびたび要望が出
され、ようやく実現した次第です。
新園舎は、外観もユニークで、
至るところに、園児達の眼の高さ
に合わせた工夫がなされ、のびの
びと遊べ、また学べるように、配
慮がなされている様です。
大人の私達には、想像できない
程、自由な発想をもつ津奈木の子
供達が、より情緒豊かに、そして
より逞しく育って欲しいと思
います。

町をはじめ、町民の皆様には、
大変御世話になりました。どうか
児童公園近くの、新しい津奈木幼
稚園に、是非、一度遊びにおい
ださい。

津奈木
前より

発行所
津奈木公民館
津北郡津奈木町
電話(78)3111(代)
印刷所 旭印刷
電話(水保)64101番

津奈木幼稚園沿革のあらまし

所

昭和49年5月1日	津奈木町立津奈木幼稚園開設
津奈木小学校校長芥川正則氏兼任	津奈木小学校校長芥川正則氏兼任
学級数(2)園児数45名職員4名	学級数(2)園児数45名職員4名
昭和52年3月31日	芥川正則氏退職
昭和52年4月1日	専任園長に財部留夫氏就任
昭和52年4月18日	園児送迎用バス運行開始
昭和59年12月	創立10周年記念
「津奈木幼稚園10年のあゆみ」発行	
昭和60年3月31日	財部留夫園長退職
昭和60年4月1日	塚本植子氏園長に就任
昭和62年2月26日	津奈木町立津奈木幼稚園新舎落成式挙
昭和62年3月2日	幼稚園児新園舎に入

一言

朝起きるとまづお互いに「おはようございます」とあいさつを交わして一日の生活が始まる。
一般的に親子の間ではあいさつがよくても、夫婦の間ではどうであろうか。最初は言にくいかもしれないが、一度勇気を出して言ってみたらきつとよい雰囲気になると思うのだが……。ここにも大切な家庭教育の場がある。
反省することは進歩につながる。立ち止まって自分を振り返ることが必要である。日常生活がワンパターンになりがちなのでマンネリ化しないよう注意せねばならない。大切なのは「見る」と「観る」のちがいである。ただ何となく目で追うのと観察する心を持ってじっくり眺めるのでは大きな相違である。反省し疑問をもつことが新しい発見を生むことになる。

(内野)

優勝平国上チーム

第六回B&G母子ビーチバレー大会
二位・平国下・
三位・倉谷・染竹

第六回B&G母子ビーチバレー大会が、去る二月二十五日から二十六日までの二日間の日程で、海洋センター体育館において16チームが参加しナイターゲームで熱戦が展開された。

大会の結果は、平国小学校体育館において練習を重ねた、平国校のチームが技とチームワークを発揮し大活躍し、平国上チームが優勝、平国下チームが二位と、一位二位を独占した。なお、三位には倉谷チームと染竹チームの成績であった。

大会より

喜びの平国上チーム



入って安心スポーツ傷害保険

現在加入されている
スポーツ傷害保険の有
効期限が三月三十一日
で切れます。
四月一日からの活動
は対象外となりますので、
新たに加入しなければなりません。
この保険は傷害保険
と賠償責任保険をくみ
合わせた保険であり、
割安な保険料で充実した
補償内容です。
62年度の保険料は、
一、〇五〇円です。
加入依頼書はすでに
各地区の代表者宅へ配
布されておりますので
なるべく早目に自から
進んで加入して下さい。
なお、詳しい内容に
ついては教育委員会ま
でお問い合わせ下さい。

区 分		保 険 料 (年間)	障 害 保 険 の 保 険 金 額			賠償責任保険のてん補限度額	
			死亡・後遺障害 保 険 金 額	入院保険金 日 額	通院保険金 日 額	身 体 賠 償 1事故につき	財 物 賠 償 1事故につき
一 種	A (子供会)	350円	1,200万円	3,800円	1,200円	5,000万円	100万円
	B	600円					
	C	1,050円					

体指紹介

前体育指導委員の任期が三月三十一日で切れるため、62・63年度の二年間、左記の方に新たにお願いしました。

スポーツに関することで、ご意見などありましたら、教育委員会と同様に各地区の体育指導委員さんへ申し出て下さい。

体育指導委員の氏名、住所は次のとおりです。

津奈木美孝 (浜崎)
鶴野 賢二 (染竹)
西平 久雄 (川内)
村上 広 (平国上)
新立 広 (大泊)
山口 武久 (内野)
新立 晴敏 (大泊)
丸山 久雄 (倉谷)
福山 二子 (平国下)
千々岩三四子 (日当)



「冬来りなば春遠からじ」といつて春に希望をつないで、寒い冬を乗り切った。人間は明日に明るい希望があれば暮らしてゆけぬ。「花散りぬれば、裸の夏が来る。」「しばらくすると秋の紅葉が待っている」などと希望は尽きない。希望は自分で創り出すべきものである。
○中学校卒業生の感想を読んで「『苦しい』たのしい」は絶対的のものではなく個人的ものであるから、
「これは普通のこと、自分だけが苦勞するのではない」と思い流せばよい。
「常に前進する」とか「いろいろなことにチャレンジして充実した日々を多く」には同感。
○チッソをポロクンという人もある。チッソは恩人だと思ふ人もいよう。チッソは関係なしと無関心の人もいよう。
○幼稚園落成と聞けば財部留夫先生を思い出す。
地球(遊具)のとつべんに乗って「春だノ私たちの遊び舎だノ矢城も見えるノ天草島も見えるノ海もノワイ」と叫んでいる。
○徳富蘇峰先生に挑戦
蘇峰先生は偉くてその足にもとも近寄れない。私は寿命で挑戦先生は九十五才であった。
○駅伝で九区間賞中七区をとったことはすばらしい成績、絶賛をおしまぬ。

編集後記

「冬来りなば春遠からじ」といつて春に希望をつないで、寒い冬を乗り切った。人間は明日に明るい希望があれば暮らしてゆけぬ。「花散りぬれば、裸の夏が来る。」「しばらくすると秋の紅葉が待っている」などと希望は尽きない。希望は自分で創り出すべきものである。

庁舎美術館 (2)

蘇峰 像

松本 得 三 作



三階廊下に展示

思い出

三年 村上 泰 史

「卒業」今までこの言葉をなにげなく聞き流して来ましたが、いざ自分達が卒業するとなると、この言葉がとても重く感じられて来ます。それも、小学校の卒業ではなく、中学校の卒業、言い替える

と義務教育を終えるということと、これからは一人一人それぞれ別の道を歩いて行くわけで、何か淋しいような気がします。今、この三年間を振りかえってみると、いろんな思い出、出来

事、友達とけんかした事、部活動の練習が辛かった事、今ではみんな良い思い出として残っています。僕達はこの思い出を胸に秘めてこれから、巣立って行くわけですが、今から先どんな苦難が待ち構えているかわかりません

しかしその苦難を中学校で学んだ、忍耐力、精神力で乗り越えて行こうと思います。

昭和61年度 第40回津奈木中学校卒業式



ありがとう…… 元気でね

巣立ち

三年 藤 井 久 美 子

振り返って見れば、何もわからず小学校に入学し、あつという間に6年という月日が流れ、期待に胸をふくらませ、中学校に入学した。そして今、私達は、一人一人様々な思い出を胸に秘め、長い短かった9年間という義務教育を終え、自分の前にひらかれている新しい道を歩もうとしている。一人一人それぞれの道を進むわけですが、長い人生、平らな道ばかりではありません。挫折しても立ち直れる強い意志を持ち、自分の夢に向かって進まなければなりません。その為には、自らの目標を強くして、忍耐・努力を怠らず、常に前進する事が大事なことだと思います。私は、中学校生活での3年間、勉強にしろ、部活動にしろ、一つの事をいい加減にしてきた事が多く、随分、後悔しました。でも自らの努力が足りなかった所を十分に反省して、今からの生

様に、苦勞を避けて、失敗を恐れず、不可能だと諦めないで、いろいろな事にチャレンジして、少しでも充実した日が多くなる様に張り合いと思っています。最後に、今までお世話になった先生方、周囲の方々、本当にありがとうございました。

町誌こぼれ話 (六)

チツソ誕生 松崎 茂 生

前回チツソ誕生の経緯を紹介した。今回は津奈木の人が関係していたと云う話をお伝えしたい。

二、谷口重義さん

日室鏡工場は地元はもとより県をあげての熱心な誘致で建設された。鏡工場は、カーバイド、石灰

公害という言葉もない当時で、公害規制もなく、被害に対する補償をすることで解決していたが、鏡工場には農業に詳しい人がいず、被害額についてトラブルが絶えな

かった。そこで県の農事試験場の技師だった千代の谷口重義さんが日室の要請で入社され、鏡や津口地区等から農民代表の被害調査員

を選出して貰って一緒に被害を調査も小兵で見るとに精悍で戦闘的であった。二つとも「ときこま」といった、脚は槍のように平たいものや錐のように太ったものがあった。各種のこまの中ときこまが一番人気があった。専ら相手のこ

まを傷つけるのが目的で投げて回したので「投げこま」ともいって、地面にXの罰じるしを書くか、同心円を書いて、おのおのが中心に向かって投げまわして、中心に一番近い順に順序をきめ、二番以下は、地面にこまを立てておく。一番は立ててあるこまにねらい定めて投げつける。中にはゴボリと頭に乗ることがある。時には、削られることもある。歴戦の勇士で

昔の遊び

こままわし

正月には、きまって「こままわし」をした。坊さん頭のようにつるつとしたもの、とんがり帽子をかぶったような先の太ったもの、平こまといってご飯茶碗のような形もあった。お皿の形をした「ちよんかけこま」などがあつた。ちよんかけこまは、その技法がなかなか難しかったから、特殊な人がやっていた。

平こまは、大きく広揚でおつとりしていた。これはけんかしなかつたから相手にしなかつた。坊さん頭、とんがり帽子は、形

あるかどうかは頭が蜂の巣のようであるかどうかでわかつた。新しい間は穴が出来ると歯で噛んで傷あとを埋めていたが、数多くになると取捨がつかなくなつて放置した。こまひもは、自分で作った。材料は、きれいな櫓の皮、こまのひもたるためには、頭は大きく尻は小さくなければならぬ。大きい方の先端はひと結びして、一厘銭を通して回す力を強くした。打ちこまという手製のこまも流行した。直径一、三厘の木を円錐形に削り、とんがりかこまの足になる。円錐形の上の方にひもを巻く場所を残してある。回すひもは

短歌

小嶋正弘選

霜白き朝の鶏舎に産みたての卵拾えば手に温かし
サンルームの鉢片寄せて慣れぬ手に沐浴させむと嬰兒を抱く
庭先の花ごとく枯れし中みずみずとありつわぶきの花
一葉の年賀はがきにひととせの無沙汰謝せんと心こめて書く
小嶋正弘

肥後狂句

堀 双 岳 選

時が時 売り上税のなんてろん
サッパリ 久しぶり刺る不精ひげ
時が時 ハワイ旅行どころかな
サッパリ 売上税は総好かん
時が時 選挙違反に目の光る
サッパリ さかなは今日はおらん
げな
サッパリ 今日から赤の他人ばな
時が時、産婆さんまで居らっさん
次笠 堀 双 岳
お上品・甘かつ好き 一笠二句
四月末日まで、双岳宛にお願い。
霜白き朝の鶏舎に産みたての卵拾えば手に温かし
サンルームの鉢片寄せて慣れぬ手に沐浴させむと嬰兒を抱く
庭先の花ごとく枯れし中みずみずとありつわぶきの花
一葉の年賀はがきにひととせの無沙汰謝せんと心こめて書く
小嶋正弘

「世界新記録打設量達成記念」と大書された古い集会写真に諫山さんの若く誇しい顔が光っていた。

冬ながら光明るき陽溜りに風にそよぎてタンポポの咲く満天の星淨くすむ冬空に下絃の月の光寂しき
あかときの雫したたる一夜漬青いさきよく匂うわが手に
ゆらゆらと千両の実は風なきに舞い散る雲にゆれているなり
五箇の莊山のうなりか滝音か世の目を忍びしひとぞかなしき
雪被う樹々に交りて奇き木の梅檀の実は鈴のごとし
宮崎 優
故里を距り遠く子等が住む見知らぬ町へ吾は旅立つ
安らけき友の寝息を聞きながら研修最後の宿に眠らず
野田浦子
日曜の慣い自ずと新聞の選歌に至り心満ちくる
オーバーの冷たて町の露路をゆく空晴れぬ日の心許なき
西 滋子
新春の港の朝は凜と冴え船旗ゆれて波静かなり
佐々木しずえ
人知れぬ悩み持ちつつ訓練にはげむ友あり吾もはげみぬ
福田やエ子
幼子とあそびていたり思出の帰去来多き初春の部屋で
柳迫いづも
やわらかに庭木つつみし新雪に山たちばなの実は潔し
小嶋正弘



楽しい…… (津小にて)